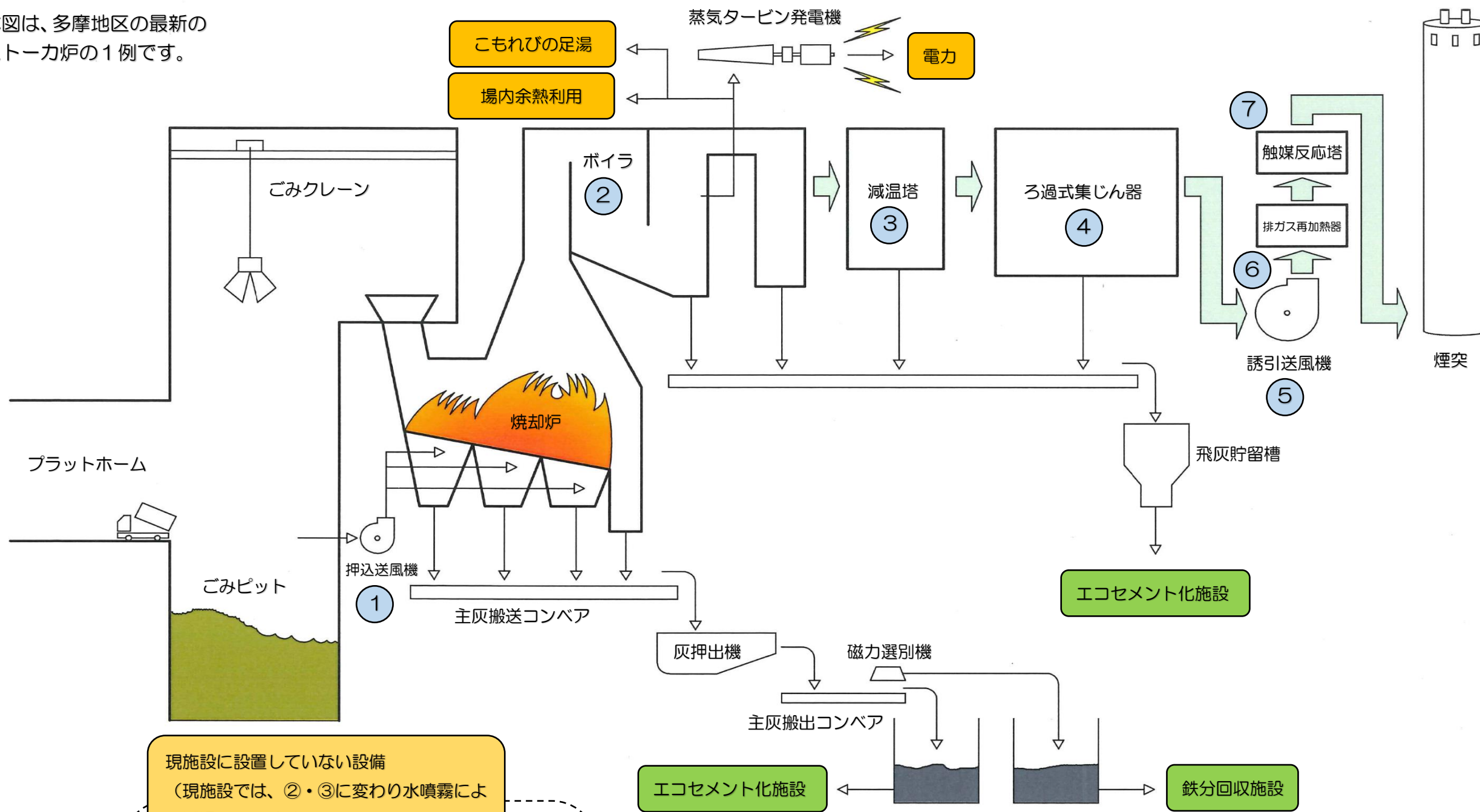


ごみ焼却施設の構造

※ 本図は、多摩地区の最新のストーカ炉の1例です。



現施設に設置していない設備
(現施設では、②・③に変わり水噴霧により減温しています。)

① 押込送風機
ごみピット内の空気を焼却炉に送ります。

② ボイラ
ごみを焼却した時に発生する熱で蒸気を発生させ、発電やこもればの足湯等の熱源として利用します。

③ 減温塔
焼却炉から出てきた高温の排ガスを減温し、ダイオキシン類の再合成を防止します。

④ ろ過式集じん器
排ガス中のばいじん、ダイオキシン類、塩化水素、硫酸化物、水銀を除去します。

⑤ 誘引送風機
排ガスを煙突に送ります。

⑥ 排ガス再加熱器
窒素酸化物を除去するために、排ガスの温度を加熱します。

⑦ 触媒反応塔
排ガス中に含まれる窒素酸化物、ダイオキシン類を触媒の働きで除去する。

現施設に設置していない設備